



「第四回内国京都府勤業博覧会図」

京都府立大学文学部＋京都府立京都学・歴彩館合同企画展示会

# 府大生∞歴彩館

第四回

# コラボで探る京都学

— 京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩館所蔵古典籍・資料展 —

私たち京都府立大学文学部と京都府立京都学・歴彩館は、各種の授業連携を通じて、歴彩館所蔵資料の調査・研究・活用を行っています。この展示は、文学部の各学科と歴彩館のコラボレーションの成果を広く公開するものです。学生たちが歴彩館資料の豊かさを多様な角度から紹介します。どうぞお楽しみください。

会期

令和3年12月11日(土)～令和4年1月9日(日)

休館日 令和3年12月28日(火)～令和4年1月4日(火)

時間 10時～16時

会場 京都府立京都学・歴彩館1階展示室 ※入場無料

主催 京都府立大学文学部 京都府立京都学・歴彩館

問合せ先 京都府立京都学・歴彩館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地29 Tel (075)723-4831 (代表)

## 日本・中国文学科

「京の御伽草子」をテーマとして、京都ゆかりの御伽草子を紹介しします。御伽草子というのは室町時代から江戸時代初期にかけてつくられた短い物語のことです。今回は、日本・中国文学科の学部生と大学院生とが、歴彩館所蔵の御伽草子のなかから、京都とかかわりのある作品をとりあげて紹介しします。きれいな挿絵や本の仕立てにも要注目です。



「土蜘蛛之草紙」

## 欧米言語文化学科

「欧米人が見る古都の復興—五代京都府知事 中井弘の役割を考える」をテーマとして、現代の欧米人日本学者が見る京都復興や、1890年代に開催された大規模なイベント企画に参加した欧米人の書物、その開催準備に取り組んでいた京都府知事 中井弘に関連する史料を紹介しします。欧米言語文化学科の学部生と大学院生が英文資料・解説の日本語訳や日本語資料の英語訳を担当しします。



第五代京都府知事 中井弘肖像画

## 歴史学科

歴彩館資料を使って研究する授業「日本文化史研究」の成果を紹介しします。四つの班に分かれて、「近世・近代の出産」「上菓子屋が開いたカフェー」「家庭への電気普及～戦前期を中心に」「京都の能」というテーマで展示しします。2021年12月23日(木)10:30～12:00、歴彩館小ホールで、その研究成果を発表しします。



上菓子屋仲間の株札

## 和食文化学科

衰退の一途をたどっていた「京野菜」が今のように注目されるようになった背景には京都府立大学名誉教授・高嶋四郎の活躍がありました。和食文化学科の学生が、歴彩館に所蔵された高嶋博士の自筆の原稿などの資料を読み解き、各種ダイコンを中心に「京野菜」の過去・現在・未来を考えました。



正月の雑煮のみに使われる「祝ダイコン」



## アクセス

- JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から  
京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車(①出口)南へ徒歩約4分
- 京阪出町柳駅から  
京都市バス1 府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩約6分
- JR 二条駅から  
京都市バス206 府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩約6分  
会場へは便利な京都市営地下鉄・市バスをご利用ください。